

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮市津門川町計画	階数	地上10F
建設地	兵庫県西宮市津門川町44番1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	553 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月 予定	評価の実施日	2021年11月28日
敷地面積	5,093 m ²	作成者	D&D建築設計事務所 岡本正仁
建築面積	1,668 m ²	確認日	
延床面積	10,893 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 78%
③上記+②以外の 78%
④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 3.3	Q2のスコア = 3.2	Q3のスコア = 2.7
音環境: 3.1, 温熱環境: 3.8, 光・視環境: 2.9, 空気質環境: 3.1	機能性: 3.7, 耐用性: 3.0, 対応性: 2.8	生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 4.1	LR2のスコア = 2.4	LR3のスコア = 3.2
建物外皮の: 4.0, 自然エネ: 2.0, 設備システ: 5.0, 効率的: 3.0	水資源: 2.2, 非再生材料の: 2.4, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 3.8, 地域環境: 2.9, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
断熱等性能等級で等級4や、開口部遮音性能 T-2を取得など行い、付加価値を設けた。	特に無し。
Q1 室内環境 開口部遮音性能 T-2を取得し、室内環境向上に努めた。	Q2 サービス性能 CAT5Eを採用し、Gbitクラスのブロードバンドの利用可能な環境に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内) 特に無し。	LR1 エネルギー 断熱等性能等級で等級4を取得予定であり、高い断熱性能のある建築材を採用し建物の熱負荷抑制に配慮した。
LR2 資源・マテリアル 特に無し。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される